

2025 年度 トビタテ留学ジャパン -New York City in United States-

2025 年 12 月中旬から

2026 年 2 月中旬まで、アメリカのニューヨークにダンス留学をしていました。滞在中はホームステイをしながら学校には通わず、毎日ダンス活動に取り組んでいました。わたしが留学中に体験したこと、学んだこと、衝撃的だったことを紹介します。

<世界一の都市ニューヨーク>

NY の街並みの景色や出会った人々は私にとって人生の中で大きな衝撃でした。私は NY 内のクイーンズという NY の中でも東側の地域に住んでいて、ダンス活動は基本的にマンハッタンやブルックリンという西側の地域で行っていました。特に私が印象的だったところはタイムズスクエアとブルックリンの街です。タイムズスクエアはまさに映画でしか見たことがないような世界の最先端を表す街で、見るものすべてが巨大で輝いて見えました。ブルックリンは反対に黒人系の人たちが多く、NY のストリートカルチャーがあらわれたバスケットコートやペイントがあり、NY らしいシックな雰囲気があふれていてとても好きでした。本当に歩いてるだけで、見るもの、話す人すべてがインスピレーションとなって、新たな価値観や文化の理解を深めることができました。



<肌で触れた黒人のダンス>

実は NY は、自分のダンスジャンルである HIPHOP が生まれた歴史ある地で、現代の世界中のダンスカルチャーは NY が起源といわれています。そのような地で私は実際に、現地のダンスシーンで活躍しているダンスクルーに飛び込んでダンスを学びました。はじめは、英語がスラング交じりで早く、会話も追いつくのに精一杯だったし、大きな黒人の人たちに囲まれて、圧倒されていました。しかし、私はそこで「怖い」という感情よりも「楽しいうれしい」という感情が出てきて毎日その人たちとダンスするようになりました。そこで今まで見たことのないような分厚いダンス、リズムの取り方、すべてにおいて衝撃的なものをみました。2 か月間、彼らのようなダンスができるようになりたいと必死に彼らと練習を重ねました。徐々にクルーにも溶け込むことができ、彼らとともにたくさんの貴重な体験をしました。一緒にダンスバトルに出たり、ショーにも出演したりしました。彼らと過ごすうちに、もちろん英語は上達しましたが、言語を超えて、ダンスと心で通じ合うことができ、私たちは本当の家族のような関係を作ることができました。彼らから学んだダンスで、今までの自分から格段に成長でき、またダンス以外のところでも、コミュニケーション力や人に対するやさしさや愛を学びました。そして彼らから、黒人の人たちの文化や歴史のすばらしさを学びました。これからも、それにリスペクトをもってダンスを続けていきたいです。